

外津汲山 783.3m (とずくみ)

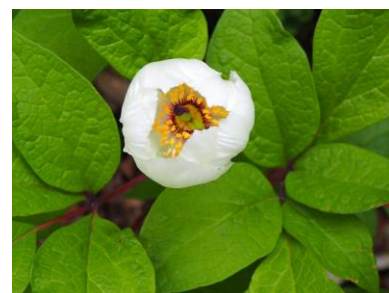
ポンポン山雑感

2023年4月24日 Minabe

外津汲山は地形図に名前はない。手前にある標高 745mの山には三角点はないが飯盛山という立派な名前がある。春の花を検索していると外津汲山がヒットしたので調べると西津汲集落からの林道を標高 450mほど登った天狗の森公園から歩けるとあった。

登山口にはすでに地元の車が数台停まっている。近年、開花情報は秒単位で発信されるのですぐに人が集まる。何かが咲いているなという予感と期待に胸を膨れませて登り始めた。よく整備され階段が作られた登山道だが、コンクリー製の丸太の周りの土砂が流れており歩きにくいので結局は階段のない場所に踏み跡がある。スマレやキランソウの花が多い。木々の芽吹きは様々な色合いを見せる。ウリハダカエデやコハウチワカエデの花、樺の芽立ちは独特の色合いで上空に広がっている。

飯盛山に近づくとヤマシャクヤクの幼草が数株見られたので、当たりを付けて岩陰に踏



み込むと花を付けた株が点在している。先に登られた地元の方は見つけられなかったのか、私達の姿を見つけて「そこに咲いていますか」と言いながらやってきた。

飯盛山の山頂は広い樹林に囲まれ展望は少ない。展望のある岩場に出るとヒメレンゲの黄色い花がたくさん咲いている。ここでランチタイム。これから登る外津汲山が見える。

ランチ後、石灰岩の凸凹急斜面を下る。標高差 90mも下ると穏やかな尾根道になり歩きやすい。コルを越えると緩い登りになり、振り返ると飯盛山の丸い形が新緑に覆われて美しい。右手には岐阜の山並みが見え、その背後に御嶽山の勇姿が白く輝いている。その右手に中央アルプスがあり更に右手に霞んだ恵那山が見える。グミの花が咲き、フジの花の蕾は外皮が外れたばかりでソーセージのような白い塊で面白い。三等三角点のある外津汲山の山頂は展望が開けている。特に東斜面は切れ落ちて岐阜市街がよく見えている。

★Minabe 他 2 名 ★コース 登山口 9:53～飯盛山 10:53 発 11:25～外津汲山 12:00～飯盛山 12:45 発 51～登山口 13:43